



ひずみゲージによる加振中の応力測定技術

モビリティパーツの応力計測により、製品の品質向上に貢献します。

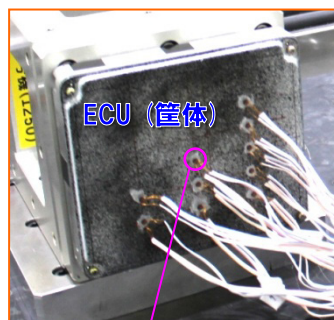
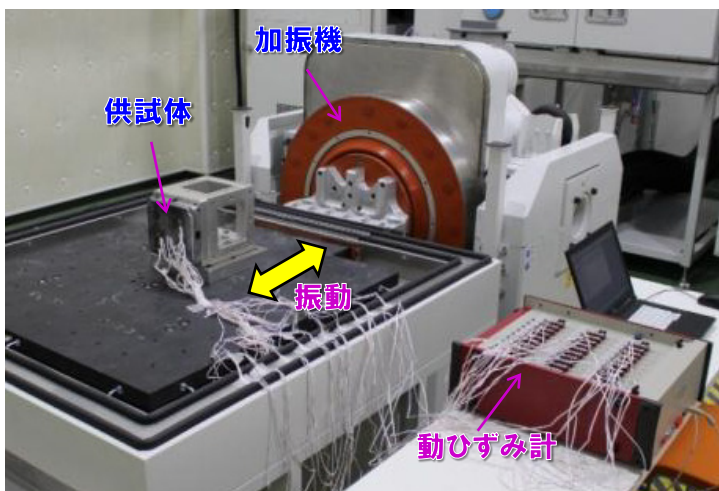
ひずみ測定のシステム構成

- 振動試験中の応力をひずみゲージ法を用いて計測します。

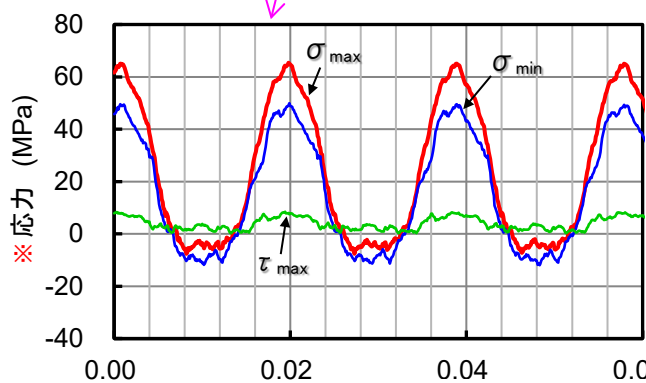


試験例

- 1) 供試品: エンジンコントロールユニット(ECU)
- 2) 加振条件: 周波数52.5Hz、加速度10G
- 3) ひずみゲージ: 3軸ゲージ(ゲージ長1mm)
- 4) サンプリング周波数: 10kHz



ひずみゲージ
貼り位置



※ 応力算出の際は、供試品のヤング率やポアソン比といった材料特性をご提供ください。

ひずみゲージ法による振動試験中の応力測定例 (ECU筐体)

※ 当社では、ひずみゲージ法のほかに、高速度カメラと3次元画像相関法(3D-DIC)によるひずみ分布解析、高感度赤外線カメラによる応力分布解析も承っております。
また、温度環境下での正弦波、ランダム波、衝撃波など様々な振動試験も承っておりますのでお気軽にお問い合わせください。

